

<報道関係各位>

2008年8月28日

株式会社ベネッセコーポレーション  
代表取締役社長兼 COO 福島保  
(コード番号 9783 東証・大証第一部)

カゴメ × 「こどもちゃれんじ」 共同企画  
「おやこのニコニコ食卓キャンペーン」を8月29日～12月1日で実施  
～しまじろうといっしょに～ 親子で楽しくオムレターを作ろう！

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、社長兼 COO：福島 保）の幼児の教育・生活支援ブランド「こどもちゃれんじ」とカゴメ株式会社（社長：喜岡 浩二）は、2008年8月29日から12月1日にかけて「おやこのニコニコ食卓キャンペーン」を全国のスーパー等で共同展開します。

本キャンペーンは、“子どもたちに食の楽しさ・大切さを伝え、豊かな食体験の機会を提供する”カゴメと、“子どもの発達段階に合わせて親子のよりよいコミュニケーションの時間を提供する”「こどもちゃれんじ」の、子どもたちの健やかな成長を願う思いが一致し、共同企画、展開に至りました。

キャンペーン内容は、両社で親子の楽しい食事の時間を応援するもので、カゴメの対象商品のバーコードまたは応募シール1枚で、「こどもちゃれんじ」の人気キャラクター「しまじろう」を型取った「しまじろう型カップ（親子で作れるレシピ BOOK 付き）」を応募者全員にプレゼントします。

「しまじろう型カップ」を使って親子で楽しくオムライスを作ることができ、カゴメが昨年からの提案している「オムレター」（オムライスにトマトケチャップで絵や文字を書きメッセージを伝えること）作りがさらに楽しくなります。「オムレター」の彩りやメッセージに、子どもたちの大好きな「しまじろう」が加わることで、子どもたちの食への興味をさらに引き出すとともに、食卓での親子のコミュニケーションがより広がります。



第2回オムレターキャンペーン  
パパにっこり賞受賞作品

「しまじろう」型オムライスで、親子の楽しい食事の時間を。

## ■ キャンペーンロゴ



## ■ 応募方法

専用キャンペーンサイト：[www.kagome.co.jp/oyakonikoniko](http://www.kagome.co.jp/oyakonikoniko) に応募方法を掲載

対象商品(カゴメトマトケチャップ 500g/基本のトマトソース/メニュー専用ソース 3品)のバーコード1枚(基本のトマトソースは応募シール)を1口として、専用応募ハガキまたは、郵便ハガキにセロハンテープなどでしっかりと貼り付け、必要事項を明記の上、下記応募先まで送付。



### プレゼント商品:「しまじろう」型カップ

「しまじろう」型のオムライスやゼリーが作れるカップです。



親子で作れるレシピ BOOK  
(イメージ)

## ■ 応募先

〒700-8765 岡山支店 郵便私書箱第 154 号

(株)ベネッセコーポレーション「おやこのニコニコ食卓キャンペーン」係

## ■ キャンペーン告知

- 専用キャンペーンサイト：[www.kagome.co.jp/oyakonikoniko](http://www.kagome.co.jp/oyakonikoniko)
- 対象商品パッケージ(カゴメトマトケチャップ 500g、基本のトマトソース天面シール)
- カゴメトマトケチャップ 500g に添付される「お絵かきキャップ」の外装袋
- 店頭ハガキ・ポスター・POP
- ベネッセ発行雑誌(ひよこクラブ/たまひよ こっこクラブ/bizmom/miku)
- 「こどもちゃれんじ」教材内「月刊子どもを学ぶ」(対象:「こどもちゃれんじ」会員約 124 万人)

## ■ キャンペーン応募期間

平成 20 年 8 月 29 日～平成 20 年 12 月 1 日(当日消印有効)

## ■ お問い合わせ先

キャンペーン事務局:

「こどもちゃれんじ」【フリーコール】0120-55-4103 (10:00～20:00、日・祝を除く)

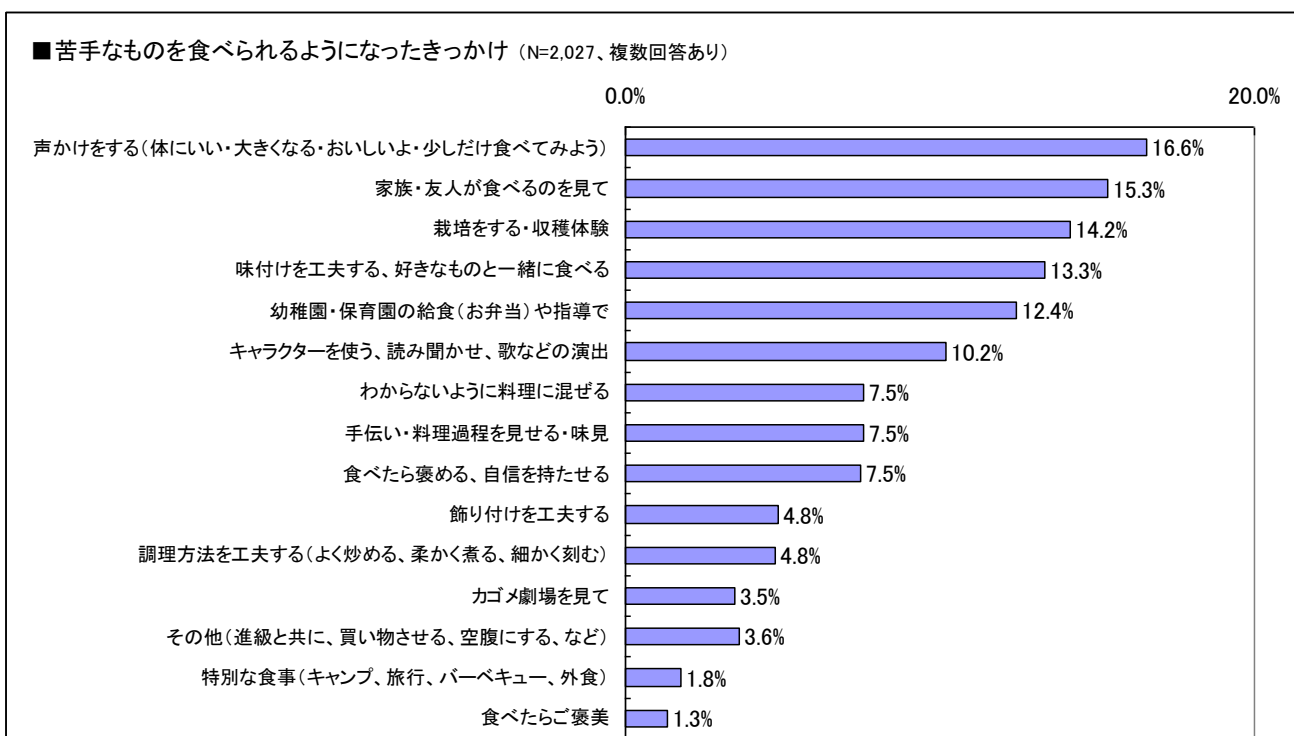
### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報・IR 部 担当:坂本、濱野、西沢、中島  
電話:042-356-0657 FAX:042-356-7301

## ご参考資料

### 1. 嫌いな野菜を克服するには、食卓の楽しさの演出 が効果的！！

■ 苦手な食べ物を食べられるようになったきっかけ(声かけ、体験、食卓の演出等)がありますか？  
(N=3,863)



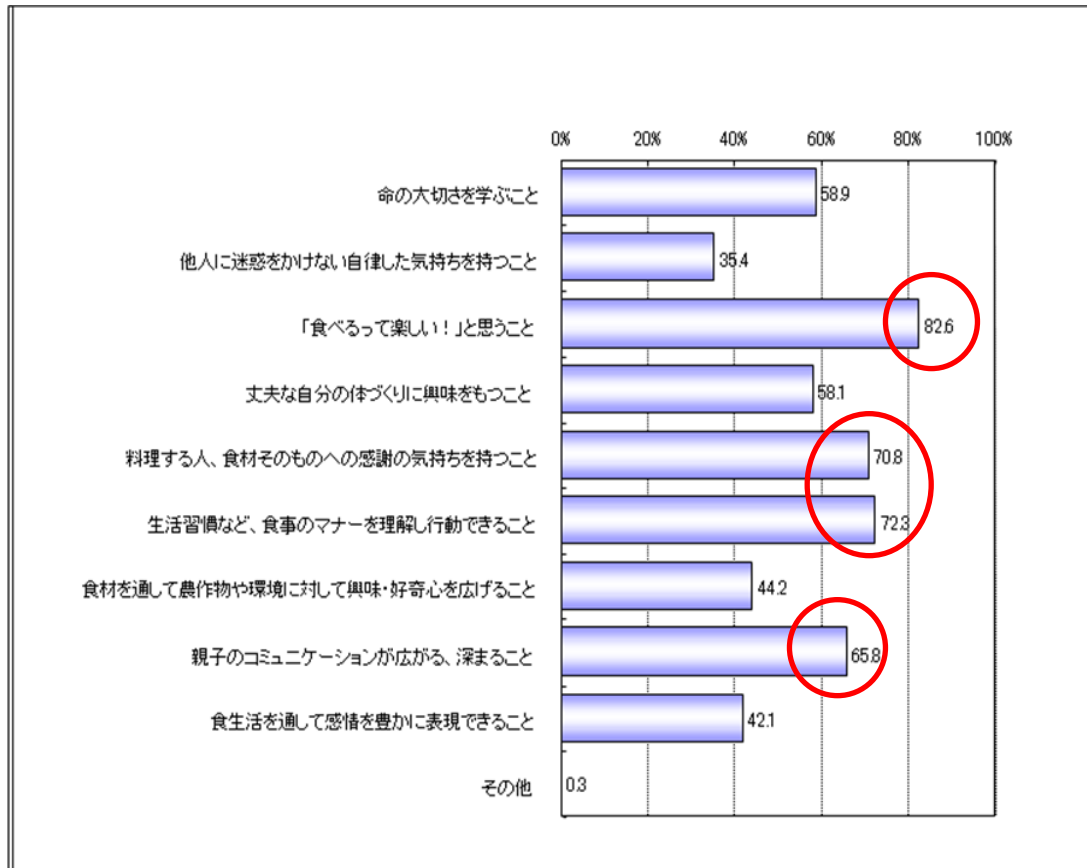
- 最も多く挙げられたのは、声かけによる食への興味・理解促進で 16.6%。次いで、「誰かと一緒に食べる(共食)」、「栽培・収穫体験」となりました。
- 「細かく刻む」「分からないように混ぜる」等の調理技術よりも、家族やお友達と食卓を囲んで話しをしたり、キャラクターを使ったり、食卓の楽しさの演出などが、「好き嫌い克服のきっかけ」として多く挙げられました。

出典：カゴメ調査「子どもの野菜摂取に関する調査」より

- ◆ 調査実施期間:2008年4月1日～6月20日
- ◆ 調査対象:全国の幼児・児童(主に3～7歳)を持つ保護者
- ◆ 調査方法:インターネットを使ったアンケート回答方法

## 2. 「食」を通して、『「食べるって楽しい!」と思うこと』、 「親子のコミュニケーションが広がること」に親の高いニーズが集中

### ■ 「食育」に関してお子様に身につけさせたいことは何ですか？



今年で20周年を迎えた「こどもちゃれんじ」は、「今、そしてこれからの子どもたちにとって必要なものは何か」を考え、「環境」、「食育」をテーマに様々な活動を行っています。

今回「食育に関して子どもに身につけさせたいことは何か」、という問いに対し、『「食べるって楽しい!」と思うこと』(82.6%)に最も高いニーズがあることが分かりました。次いで、「生活習慣など食事のマナーを理解し行動できること」(72.3%)、「感謝の気持ちを持つこと」(70.8%)、そして「親子のコミュニケーションが広がる、深まること」(65.8%)が挙げられました。

「こどもちゃれんじ」は、「食育」について「食べることは命と心を育むこと」であり、「親子の楽しい食事の時間は子どもたちにとって大切である」と考えています。「こどもちゃれんじ」は、このようなメッセージを教材や今回のカゴメとの共同企画を通し、広く発信していきたいと考えています。

出典：「こどもちゃれんじ」調査 『子どもの「食」に関する調査結果』より

- ◆ 調査実施期間:2008年3月実施
- ◆ 調査対象:全国の幼児・児童(0~6歳)を持つ保護者 1560人
- ◆ 調査方法:インターネットを使ったアンケート回答方法